

2025年度 陽和中学校 社会科 学年別学習計画一覧			＊ 表内の【知技】は、【知識・技能】、【思判表】は【思考・判断・表現】、【主】は【主体的に学習に取り組む態度】の略		
1 年 【105時間】			2 年 【105時間】		
目 標	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決にむけて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		目 標	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決にむけて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿 【評価の観点】	学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿 【評価の観点】
1	【地理】 第1部世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿	【知技】 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 【思判表】 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の一、緯度や経度に着目して多面的・多角的に考察し表現している。 【主】 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	1	【地理】 第3部日本のさまざまな地域 第1章身近な地域の調査	【知技】 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 【思判表】 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第2章 日本の姿	【知技】 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲の変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 【思判表】 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		第2章日本の地域的特色	【知技】 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 【思判表】 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目してそれらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第2部世界のさまざまな地域 第1章人々の生活と環境	【知技】 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 【思判表】 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		【歴史】 第2章日本の地域的特色	【知技】 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 【思判表】 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目してそれらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	【歴史】 持続可能な社会の実現に向けて 第1章歴史へのとびら 第2章古代までの日本 第1節(前半)	※省略 ※省略 【知技】 日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解している。古代における文化の特色を、東アジアの動きと関わらせて理解している。古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などに関する諸資料を収集し、様々な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思判表】 古代文明の特徴や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れに関する課題を意欲的に追究している。現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。		【歴史】 第4章近世の日本	【知技】 ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行きづまりを見せたことを理解している。 【思判表】 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 近世の日本について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	第1節(後半)～第3節	【知技】 世界各地で顕著化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 【思判表】 アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	2	【地理】 第3章日本の地域的特色 第4部地域のあり方 第1章地域のあり方	【知技】 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。左の(1)から(5)までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 【思判表】 日本の諸地域において、それぞれの(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主】 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	【地理】 第2部世界のさまざまな地域 第2章世界の諸地域 第1節～第4節	【知技】 世界各地で顕著化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 【思判表】 アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		【地理】 第3章日本の地域的特色 第4部地域のあり方 第1章地域のあり方	【知技】 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。左の(1)から(5)までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 【思判表】 日本の諸地域において、それぞれの(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主】 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第5節、第6節	※省略 2学期同様		【地理】 第3章日本の地域的特色 第4部地域のあり方 第1章地域のあり方	【知技】 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。左の(1)から(5)までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 【思判表】 日本の諸地域において、それぞれの(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主】 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	【歴史】 第3章中世の日本	【知技】 武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発展と民衆の成長、中世の文化の特色など、東アジア世界との交流を背景に理解している。中世の政治の展開、経済の発展と社会の変化、文化の広がりに関する諸資料を収集し、様々な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表にまとめたりしている。 【思判表】 武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発展と民衆の成長、文化の特色などを、多面的・多角的に考察し、表現している。モンゴルの襲来、明や朝鮮との関わりなど東アジア世界との交流を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業と民衆の成長、東アジア世界との交流に関する課題を意欲的に追究している。日本の伝統文化に対する関心を高め今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。		【歴史】 第3章日本の地域的特色 第4部地域のあり方 第1章地域のあり方	【知技】 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。左の(1)から(5)までの考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 【思判表】 日本の諸地域において、それぞれの(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主】 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
3	第5節、第6節	※省略 2学期同様	3	【歴史】 第5章開国と近代日本の歩み	【知技】 欧米諸国が近代社会を成立させて、アジアへ進出したことを理解している。明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 【思判表】 事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第5節、第6節	※省略 2学期同様		【歴史】 第5章開国と近代日本の歩み	【知技】 欧米諸国が近代社会を成立させて、アジアへ進出したことを理解している。明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 【思判表】 事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第5節、第6節	※省略 2学期同様		【歴史】 第5章開国と近代日本の歩み	【知技】 欧米諸国が近代社会を成立させて、アジアへ進出したことを理解している。明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 【思判表】 事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第5節、第6節	※省略 2学期同様		【歴史】 第5章開国と近代日本の歩み	【知技】 欧米諸国が近代社会を成立させて、アジアへ進出したことを理解している。明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 【思判表】 事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
3	第5節、第6節	※省略 2学期同様	3	第6章二度の世界大戦と日本	【知技】 二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身に付けている。表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。 【思判表】 各国の動きについて公正に判断し、自分の意見を述べている。日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し自分の意見を述べている。 【主】 二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。
	第5節、第6節	※省略 2学期同様		第6章二度の世界大戦と日本	【知技】 二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身に付けている。表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。 【思判表】 各国の動きについて公正に判断し、自分の意見を述べている。日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し自分の意見を述べている。 【主】 二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。
	第5節、第6節	※省略 2学期同様		第6章二度の世界大戦と日本	【知技】 二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身に付けている。表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。 【思判表】 各国の動きについて公正に判断し、自分の意見を述べている。日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し自分の意見を述べている。 【主】 二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。
	第5節、第6節	※省略 2学期同様		第6章二度の世界大戦と日本	【知技】 二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身に付けている。表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。 【思判表】 各国の動きについて公正に判断し、自分の意見を述べている。日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し自分の意見を述べている。 【主】 二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。
3 年 【140時間】			3 年 【140時間】		
目 標	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決にむけて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		目 標	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決にむけて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿 【評価の観点】	学 期	単元名・教材名等	達成したい主な姿 【評価の観点】
1	【歴史】 第7章現代の日本と私たち	【知技】 第二次世界大戦後に行われた日本の諸改革により、日本はどのように再建を遂げていったのかを、苦しい状況の中、男女普通選挙の確立や、日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことなどを基に理解している。現代の日本の役割が国際社会で大きくなってきたことを、高度経済成長や沖縄返還などの国際社会との関わりを深まり、冷戦終結後の世界情勢を基に理解している。 【思判表】 戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現している。現代の日本がどのような特色を持つのかについて、現代の日本の歴史を大観し、その特色を多面的・多角的に考察している。 【主】 現代の日本の特徴を理解しようとし、現代の我々とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立てて、課題の解決に取り組もうとしている。	1	【公民】 第1編私たちと現代社会	【知技】 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解している。現代社会における文化の意義や影響について理解している。 【思判表】 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	第2編私たちの生活と政治 第1章個人の尊重と日本国憲法	【知技】 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		第2編私たちの生活と政治 第1章個人の尊重と日本国憲法	【知技】 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	第2章国民主権と日本の政治	【知技】 国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解している。議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		第2章国民主権と日本の政治	【知技】 国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解している。議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	第3章私たちの生活と経済	【知技】 身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		第3章私たちの生活と経済	【知技】 身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2	第4編私たちと国際社会	【知技】 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	2	第4編私たちと国際社会	【知技】 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	第4編私たちと国際社会	【知技】 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		第4編私たちと国際社会	【知技】 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	第4編私たちと国際社会	【知技】 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		第4編私たちと国際社会	【知技】 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	第4編私たちと国際社会	【知技】 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。		第4編私たちと国際社会	【知技】 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 【思判表】 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主】 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
3	第5編私たちの課題	※省略	3	第5編私たちの課題	※省略
	第5編私たちの課題	※省略		第5編私たちの課題	※省略
	第5編私たちの課題	※省略		第5編私たちの課題	※省略
	第5編私たちの課題	※省略		第5編私たちの課題	※省略